

研究課題名	症例報告：Peripheral hemophagocytosis in an extremely low birth weight infant
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 新生児科 氏名 畠中 大輔
研究期間	(西暦) 2022年 2月 ～ 2022年 4月
研究の意義・目的	新生児領域において血小板減少は比較的好くみられる事象であり、敗血症はその原因として最も多い。しかし、敗血症の際の血小板減少のメカニズムは明確には解明されていない。今回、敗血症を起こした際に著明な血小板減少をきたし、末梢血でマクロファージによる血小板貪食像を認めた超低出生体重児の1例を経験した。調べ得た限り、新生児敗血症において、末梢血でマクロファージによる血小板減少を認めた最初の報告であり、極めてまれな事象として報告する意義があると考えられる。また、同時にサイトカインプロファイルの測定も行ったため、新生児敗血症における血小板減少のメカニズム解明の一助になると思われ、新生児医療従事者に対して、価値ある報告と考えられる。
研究の方法 (対象期間含む)	当院で出生して入院管理を行った児の臨床経過、検査データをまとめ、医学雑誌に症例報告を行う。検査データについては電子カルテより収集する。症例の入院期間は2021年1月26日から2021年5月16日である。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①後方視的研究(症例報告)のため、当院電子カルテより症例の検査データを収集する方法で施行される。検査データは電子カルテより印刷し、論文に記載した後、医局内のシュレッダーにより破棄処分する。学術論文投稿終了後、データをPC上で破棄する。 ②電子カルテより以下の検査データを収集する：血液検査、血液培養検査、末梢血スメア標本 ③武蔵野赤十字病院新生児科：畠中大輔 ④武蔵野赤十字病院新生児科：畠中大輔(研究責任者)
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 新生児科 氏名 畠中 大輔 TEL：0422-32-3111(代表) 6812(事務局内線) FAX：0422-32-3525